

2021年度スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性審査

審査結果及び所見一覧

No.	団体名	審査結果	審査所見
1	公益社団法人日本ボート協会	適合	<p>【好事例】 審査項目6</p> <p>アスリート委員会の委員長は理事が務めており、構成メンバーは若手を中心に性別・出身母体に偏りが出ないように考慮されている。また、アスリート委員会として代表選手に対して活動状況等に関するアンケートを実施し、その結果が委員長（理事）を通じて業務執行会議に報告され、組織運営に反映される仕組みを構築していることは、ガバナンス強化の好事例である。</p>
2	公益社団法人日本ホッケー協会	適合	<p>【好事例】 審査項目1</p> <p>中長期計画である「Japan Hockey Road to 2030」において、9つの重点領域を定め、2030年までの具体的なアクションプランとタスクを明確にしていること、また、中期基本計画が浸透しやすいようにサマリーを作成していることは、ガバナンス強化の好事例である。</p>
3	公益財団法人日本バレーボール協会	適合	<p>【好事例】 審査項目3</p> <p>組織の存続に向けた具体的な危機感に伴い、明確な数値目標が定められている。このような状況になったこと自体が適切ではないという評価はあろうものの、事態を改善しようとする積極的な姿勢は、ガバナンス強化の好事例である。</p> <p>【好事例】 審査項目17</p> <p>選考過程のみならず、チームスポーツでありながら選考基準もできる限り明確にしているとともに、選考に漏れた選手への理由の開示まで可能になっており、基準の明確化と説明責任を果たそうとする点は、ガバナンス強化の好事例である。</p>

2021年度スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞適合性審査

審査結果及び所見一覧

No.	団体名	審査結果	審査所見
4	公益財団法人日本体操協会	適合	【好事例】 審査項目1 中期基本計画において、各種目の強化や国内の普及のみならず、IFとの連携など海外へ向けた活動についても具体的かつ詳細なマイルストーンを設定していることは、ガバナンス強化の好事例である。
5	公益財団法人日本バスケットボール協会	適合	【好事例】 審査項目22 eラーニングという手法を用いて人権、情報管理、八百長、アンチドーピング、心構え、コンプライアンスといった多岐にわたる内容について扱っていることは、ガバナンス強化の好事例である。
6	公益財団法人日本スケート連盟	適合	【好事例】 審査項目42 加盟団体に対する資金援助を明確に打ち出し、組織の活性化を図ろうとしていることは、ガバナンス強化の好事例である。

2021年度スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性審査

審査結果及び所見一覧

No.	団体名	審査結果	審査所見
7	公益財団法人日本レスリング協会	適合	該当なし
8	公益財団法人日本セーリング連盟	適合	該当なし
9	公益社団法人日本ウエイトリフティング協会	適合	該当なし
10	公益財団法人日本ハンドボール協会	適合	該当なし
11	公益財団法人日本ソフトテニス連盟	適合	該当なし
12	一般財団法人少林寺拳法連盟	適合	<p>【要改善事項】 審査項目17 世界大会に関する代表選考基準及び同基準の策定者に関する規程がない状況は、近い将来、当該団体の組織運営に支障をきたしかねないと判断し、要改善事項として指摘する。したがって、2023年3月末までに改善が望まれる。</p> <p>【要改善事項】 審査項目29 同上。</p>
13	公益社団法人日本オリエンテーリング協会	適合	該当なし
14	一般財団法人日本バウンドテニス協会	適合	該当なし